

部活の不用品 提供呼び掛け

静岡市立清水商高の生徒会役員らが23日、市役所静岡庁舎に田辺信宏市長を訪ね、同校が始めた「BUKATSU(部活)アイテム復活プロジェクト」の経過報告と活動推進に向けた協力を訴えた。

12.1.24

清水商生徒会

3月に
再回収

市に協力要請

プロジェクトは、部活を引退して使わなくなった衣類や靴などを貧困層が多いとされるバンクラデシユで再利用してもらう活動。昨年10月に活動を始め、取り組みを報じたニュースを見た県内外の高校などからも「活動に賛同したい」などの反響があるという。卒業時期となる今年3月に提供を呼び掛け、現地に送る予定。

静岡庁舎を訪れた前生徒会長の若林侑弥さん(17)、プロジェクト



不用になった部活用品の回収活動への協力を呼び掛ける清水商生徒会関係者ら
静岡市役所静岡庁舎

を担当した前ホームルーム対策委員長の大滝周平さん(18)、現委員長の鈴木悠太さん(17)らは「資源リサイクルの新しい形といえる。清商モデルとして全国に発信したい」と話し、現地に送る際の資金援助や活動を機に、バンクラデシユとの交流促進などを求めた。

田辺市長は「支援の在り方を考えたい。アジア各国を提供先に広げられる可能性もあり、今後の展開に期待している」と語った。